

武庫庄



令和 7 年10月16日

ひとつひとつ…

涼しい秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良い季節になりました。学校では、連合体育大会や音楽会といった大きな行事を前に、子どもたちは目標に向かって目を輝かせ、全力で活動しています。

先日、大阪大学の坂口志文特任教授が、ノーベル生理学・医学賞を受賞されたという嬉しいニュースがありました。この偉大な発見は、私たちの子どもたちが未来を生きる上で、とても大切なヒントをくれています。それは、『自分の頭で考える力』と、『粘り強く、地道に取り組む精神』の重要性です。

世の中は、便利なマニュアル化が進み、生成 AI を使えば知識や答えがすぐに手に入る時代になりました。でも、本当に大切なのは、AI が出した答えに満足せず、「本当にそれでいいのかな?」「他にはどんな方法があるだろう?」と、自分で疑問を持ち、深く考える力です。

坂口教授は、誰も疑問に思わなかった領域に光を当て、長年にわたり「なぜ免疫系が自分を攻撃するのか」という根源的な問いに向き合い続けました。この常識にとらわれず、粘り強く挑み続ける思考の深さが、世界を変える発見につながったのです。

坂口教授の座右の銘は【一つ一つ】であると伺いました。

ノーベル賞という大きな成果は、一瞬のひらめきで生まれたものではありません。それは、毎日、地道で、時には孤独な研究を「一つ一つ」積み重ねてきた結果です。

この精神は、子どもたちの成長にも欠かせません。

・授業で難しい問題にぶつかっても、すぐに答えを求めずに「どうすれば解けるか」と自分の頭で考え抜くこと。

・遠いゴールに圧倒されることなく、「今日はここまで」と小さな努力を積み重ねること。

私たち大人の大切な役割は、子どもたちがこの「考える努力」を続けるための土台を築くことです。子どもたちの意欲の火を消さないように、「教えすぎずに考えさせる」という姿勢で、そっと後方から励まし、見守っていきましょう。

ご家庭でも、もしお子さまが困っていても、すぐに答えを渡すのではなく、「頑張っているね、あともう少し考えてみようか」と温かく声をかけ、粘り強く考える時間を大切にしてください。

子どもたちが『自分の頭で考え』、目の前の課題を『一つ一つ』解決していく中で、将来どんな困難にも立ち向かえる、賢く、逞しい力を身につけられるよう、今後ともご協力をお願いいたします。



【5 年 稲刈りをしました!】